

2012～2016 体活動報告

2016/11/26 指導者講習会

【2012/5/19 県トレ (エコパ補助) U-12 35名 (GK6名)】

国体 : 清水綾馬 (ジョガドール富士見 FC) 栗田詩音 (サルファス ORS)
 監物拓歩 (長岡 SSS) 梅田透吾 (長泉アミーゴズ)

TC リーグ : 望月勇伸 (T&T) 山本竜輝 (大富士 FC) 出口大瑠 (サルファス ORS)
 田村祐二郎・徳永悠大 (オイスカエストレージャ) 佐藤耕誠 (函南 SSS)
 外山陽一 (フリーダム) 天野友心 (青島 SSS)

所感 : ・シュートが少ないゲーム・1対1の守備の問題(ドリブルに弱い)
 ・コーチングによって激的に変わる (グループによって成果に格差がある)

【2012/6/17 全日少県予選準決勝・決勝 (藤枝陸上)】

優勝 : サルファス ORS 2位 : アスルクラロ沼津
 3位 : 高部東・オイスカエストレージャ

国体 : 栗田詩音・鈴木大晟 (サルファス ORS)

TC リーグ : 出口大瑠 (サルファス ORS) 牧野友哉 (高部東)
 田村祐二郎・徳永悠大 (オイスカエストレージャ)

所感 : ・強烈な個はいない (みんなまとまっている)・GK がいない

【2012/6/24 東海 TC マッチ (豊田スポーツセンター) 18名 (GK2名)】

国体 : 清水綾馬 (ジョガドール富士見 FC) 栗田詩音 (サルファス ORS)
 監物拓歩 (長岡 SSS) 梅田透吾 (長泉アミーゴズ)

TC リーグ : 望月勇伸 (T&T) 出口大瑠 (サルファス ORS) 天野友心 (青島 SSS)
 田村祐二郎・徳永悠大 (オイスカエストレージャ) 佐藤耕誠 (函南 SSS)

所感 : ・無謀なチャレンジ (仕掛け)・狭いエリアのプレーが上手い (みんな寄る)
 ・1対1の守備が淡泊・個のキープ力が高い

【2012/10/20 県トレ U-12 (富士川河川敷) 38名 (GK7名)】

国体 : 清水綾馬 (ジョガドール富士見 FC) 栗田詩音 (サルファス ORS)
 監物拓歩 (長岡 SSS) 梅田透吾 (長泉アミーゴズ)

TC リーグ : 望月勇伸 (T&T) 山本竜輝 (大富士 FC) 出口大瑠 (サルファス ORS)
 田村祐二郎・徳永悠大 (オイスカエストレージャ) 佐藤耕誠 (函南 SSS)
 外山陽一 (フリーダム) 天野友心 (青島 SSS)

所感 : ・11対11フルコートをやったら選手がみんな迷ってしまった

【2012/12/15 県トレ U-12 (つま恋) 38名 (GK7名)】

国体 : 清水綾馬 (ジョガドール富士見 FC) 栗田詩音 (サルファス ORS)
 監物拓歩 (長岡 SSS) 梅田透吾 (長泉アミーゴズ)

TC リーグ : 望月勇伸 (T&T) 山本竜輝 (大富士 FC) 出口大瑠 (サルファス ORS)
 田村祐二郎・徳永悠大 (オイスカエストレージャ) 佐藤耕誠 (函南 SSS)
 外山陽一 (フリーダム) 天野友心 (青島 SSS)

所感 : U-13 エスパルスと試合をした。(11対11)・居場所がわからない選手が多い
 ・カバーの意識 (サイドの選手の立ち位置)・サイドプレーが全く無かった

【2012/12/16 東海 TC マッチ (豊田スポーツセンター) 18名 (GK2名)】

国体 : 清水綾馬 (ジョガドール富士見 FC) 栗田詩音 (サルファス ORS)
 監物拓歩 (長岡 SSS)

TC リーグ : 望月勇伸 (T&T) 出口大瑠 (サルファス ORS) 天野友心 (青島 SSS)
 田村祐二郎・徳永悠大 (オイスカエストレージャ) 佐藤耕誠 (函南 SSS)

所感 : ・無謀なチャレンジ (仕掛け) ・カウンターを喰らいまくった

【2013/2/10 NTT カップ決勝 (エコパスタジアム)】

優勝 : サルファス ORS 2位 : ホンダ FC

国体 : 栗田詩音・鈴木大晟 (サルファス ORS)

TC リーグ : 出口大瑠 (サルファス ORS)

所感 : ・ジョナタンの一人舞台だった

【2013/2/16 県トレ U-12 (エコパ補助) 38名 (GK7名)】

国体 : 清水綾馬 (ジョガドール富士見 FC) 栗田詩音 (サルファス ORS)
 監物拓歩 (長岡 SSS) 梅田透吾 (長泉アミーゴズ)

TC リーグ : 望月勇伸 (T&T) 山本竜輝 (大富士 FC) 出口大瑠 (サルファス ORS)
 田村祐二郎・徳永悠大 (オイスカエストレージャ) 佐藤耕誠 (函南 SSS)
 外山陽一 (フリーダム) 天野友心 (青島 SSS)

所感 : ・3月のスペイン遠征のメンバーが決定しており、そのメンバーを追って
 トレーニングを見た。みんな同じように上手くて顔と名前がなかなか一致しなかった。

【2013/3/9 スペイン遠征結団式及練習試合 (藤枝陸上) 16名 (GK2名)】

国体 : 清水綾馬 (ジョガドール富士見 FC) 栗田詩音 (サルファス ORS)

TC リーグ : 望月勇伸 (T&T) 出口大瑠 (サルファス ORS) 天野友心 (青島 SSS)
 田村祐二郎・徳永悠大 (オイスカエストレージャ) 佐藤耕誠 (函南 SSS)

所感 : ・U-13 明誠と試合をした。(11対11) ・練習でのうまさが出ない。

・攻撃も守備もゴールに意識がないように見えた。

【2013/3/24~4/2 スペイン遠征 16名 (GK2名)】

国体 : 清水綾馬 (ジョガドール富士見 FC) 栗田詩音 (サルファス ORS)

TC リーグ : 望月勇伸 (T&T) 出口大瑠 (サルファス ORS) 天野友心 (青島 SSS)
 田村祐二郎・徳永悠大 (オイスカエストレージャ) 佐藤耕誠 (函南 SSS)

所感 : ・1つ上のカテゴリーの大会に参加

<攻撃> ・足下が多い・思い切りよくシュートが打てない

・狭い中でのプレーは上手い

<守備> ・ゴールを守る意識が薄い・1対1以外の意識はない (カバーなど)

・日を追うごとに身体を張れる選手が増えた。

<ミーティング>

① 食事について ② これからのトレセン活動について

クリニックや現地指導者との交流の中で教え込みも大切だということ強く感じた。ベースがなければオリジナルも生まれない。8人制からの移行で指導者がそこに気付かなければならないと感じた。

<メンバーの進路内訳> : ・エスパルス 9名・ジュビロ 4名・アスルクラロ沼津 1名・ホンダ 1名
 ・JFA アカデミー 1名・中体連 2名 (静岡学園・丸塚)

【2013/4/28 U-13 エスパルス対 U-13 ジュビロ (上大之郷)】

国体 : 栗田詩音・監物拓歩・佐野陸人 (エスパルス)
 TC リーグ : 望月勇伸・出口大瑠・天野友心 (エスパルス) 徳永悠大 (ジュビロ)
 所感 : ・スペイン遠征のセンターバック (栗田・徳永) はすごく安定感があった。

【2013/5/26 U-13 県 TC 支部トレセン対抗(エコパ補助)5 支部選抜+エスパルス・ジュビロ 総勢 120 名】

国体 : 栗田詩音・監物拓歩・佐野陸人・梅田透吾 (エスパルス)
 水野颯太・清水綾馬 (中部選抜)
 TC リーグ : 望月勇伸・出口大瑠・天野友心・牧野友哉 (エスパルス) 福山亜門 (中西部選抜)
 徳永悠大・佐藤陸 (ジュビロ) 外山陽一・山本竜輝・佐藤耕誠 (アスクラロ沼津)
 所感 : ・狭い局面のプレーは上手いが広がれないのでガチャガチャしている。
 ・シュート力 (キック力) がない=インステップキックをしっかりと蹴れない選手が多い。

【2013/6/23 U-13 県 TC (安久路) 51 名】

国体 : 栗田詩音・監物拓歩・佐野陸人・梅田透吾 (エスパルス)
 水野颯太 (常葉橘)・清水綾馬 (静岡学園)
 TC リーグ : 望月勇伸・出口大瑠・天野友心 (エスパルス)
 徳永悠大 (ジュビロ) 外山陽一・佐藤耕誠 (アスクラロ沼津)
 所感 : ・テーマはポゼッションだった。寄りすぎずに関わる、寄るタイミングについてやった。

【2013/7/28 U-13 県 TC (安久路) 34 名 (エスパルス欠席)】

国体 : 水野颯太 (常葉橘)・清水綾馬 (静岡学園)
 TC リーグ : 徳永悠大 (ジュビロ) 外山陽一・佐藤耕誠 (アスクラロ沼津)
 所感 : ・初めてトレーニングさせてもらった。新鮮さと同時に難しさを感じた。意外と当たり前のことを知らない選手が多いことに気付いた。

【2013/11/24 U-13 県 TC (愛鷹) 47 名】

国体 : 栗田詩音・佐野陸人・梅田透吾 (エスパルス)・清水綾馬 (静岡学園) 杉山八洋 (常葉橘)
 TC リーグ : 望月勇伸・出口大瑠・天野友心 (エスパルス) 外山陽一 (アスクラロ沼津)
 NTC で欠席=国体 : ・監物拓歩 (エスパルス) 水野颯太 (常葉橘)
 TC リーグ : ・佐藤耕誠 (アスクラロ沼津)・徳永悠大 (ジュビロ)
 所感 : ・富士東高校と試合をした。富士東高校が辛勝した。うまさはあるが、早さや強さはまだまだだと思った。普段自分が見ている選手と試合をさせることで県 TC の選手がどれくらいの力を持っているかはかることができた。

【2013/12/15 U-13 県 TC (西ヶ谷) 22 名 (エスパルス・ジュビロ・静岡学園・常葉橘 欠席)】

国体・TC リーグ : 対象者なし
 所感 : ・都合で午後から参加させてもらった。主要チームがいなかったため、レベル的にはだいぶ落ちると思ったが、自分的にはいつもいる選手との違いははっきりとわからなかった。

【2014/10/26 U-14 県 TC (藤枝明誠) 40 名 ジュニア合宿の選考会】

国体 : 栗田詩音・監物拓歩・佐野陸人・梅田透吾 (エスパルス) 清水綾馬 (静岡学園)
 青木心・瀬島義成・菊池健太 (JFA アカデミー) 水野颯太・杉山八洋・鈴木大晟 (常葉橘)
 TC リーグ : 望月勇伸・出口大瑠・天野友心・牧野友哉 (エスパルス) 高橋哲也 (常葉橘)
 徳永悠大・(ジュビロ) 外山陽一・佐藤耕誠・加藤隼登 (アスクラロ沼津)
 田村佑二郎・細川朝陽 (JFA アカデミー)
 所感 : ・初めてアカデミーの選手を見た。上手い選手が多かったが強い印象は受けなかった。

【2014/11/22～11/24 U-14 県ジュニア合宿 (時の栖) 21名】

国体 : 梅田透吾 (エスパルス) 清水綾馬 (静岡学園) 杉山八洋・鈴木大晟 (常葉橘)
 TC リーグ : 望月勇伸・出口大瑤 (エスパルス) 外山陽一・佐藤耕誠・加藤隼登 (アスルクラロ沼津)
 高橋哲也 (常葉橘)

NTC で欠席=国体 : 栗田詩音・佐野陸人・監物拓歩 (エスパルス) 水野颯太 (常葉橘)
 青木心・瀬島義成・菊池健太 (JFA アカデミー)

所感 : ・3 種指導者のお手伝いで参加させてもらった。最終日に昨年同様富士東高校と試合をした。
 富士東高校が辛勝したが、清水綾馬 (静岡学園) に富士東のサイドバックがやられまくってしま
 い、時折どちらが高校生がわからない時間帯もあった。

【2015/1/24 U-14 東海マッチ (安久路) 21名 4 県選抜+エスパルス・ジュビロ・アカデミー・グランパス】

国体 : 栗田詩音・監物拓歩・佐野陸人・梅田透吾 (エスパルス) 鈴木海仁 (愛知選抜)
 青木心・瀬島義成・菊池健太 (JFA アカデミー) 水野颯太・清水綾馬・鈴木大晟 (静岡選抜)

TC リーグ : 望月勇伸・出口大瑤・天野友心・牧野友哉 (エスパルス)
 徳永悠大・佐藤陸 (ジュビロ) 外山陽一・佐藤耕誠・加藤隼登 (静岡県選抜)
 田村佑二郎・細川朝陽・野末学・岩倉恋 (JFA アカデミー)

所感 : ・県選抜よりもクラブチームの方が強かった。しかしながら個の力を見るとクラブの選手がずば抜
 けているという感じではなく、県選抜の中にも良い選手が多くいた。

【2015/3/26・3/30 静岡市フェスティバル (草薙) 30名 U-14 静岡県選抜として参加 (クラブ以外の選手)】

国体 : 水野颯太・杉山八洋・鈴木大晟 (常葉橘) 清水綾馬・塩浜遼 (静岡学園)

TC リーグ : 外山陽一・佐藤耕誠・加藤隼登 (アスルクラロ沼津) 高橋哲也 (常葉橘)

所感 : ・2 日間で来られるときに来るというようになちよっとアバウトな感じの選手参加であった。チーム
 としての型はないが、個やコンビでおもしろい型を多く作っていた。守備の時にしゃべれなかつ
 たり、リーダーシップを取る選手が選抜レベルでも不在していると感じた。

【2015/7/20 U-15 県 TC (藤枝明誠) 55名 (GSA 選考会)】

国体 : 栗田詩音・監物拓歩・佐野陸人・梅田透吾 (エスパルス) 清水綾馬・塩浜遼 (静岡学園)
 青木心・瀬島義成・菊池健太 (JFA アカデミー) 水野颯太・杉山八洋・鈴木大晟 (常葉橘)

TC リーグ : 望月勇伸・出口大瑤・天野友心・牧野友哉 (エスパルス) 高橋哲也 (常葉橘)
 田村佑二郎・細川朝陽・野末学・岩倉恋 (JFA アカデミー)
 佐藤耕誠・加藤隼登・山本竜輝 (アスルクラロ沼津) 徳永悠大・佐藤陸 (ジュビロ)

所感 : ・GSA に参加する 18 名×2 の選考会であった。A チームをエスパルス、アカデミー中心にし、
 B チームをジュビロ、その他ということで選考した。B チームのコーチとして入れてもらった。
 選考はすべて 3 種の方々で行われ、自分が口出しすることはなかった。

【2015/8/30 U-15 県 TC (藤枝東) 36名 (GSA 練習会①)】

国体 : 栗田詩音・監物拓歩・佐野陸人・梅田透吾 (エスパルス) 清水綾馬・塩浜遼 (静岡学園)
 青木心・瀬島義成・菊池健太 (JFA アカデミー) 水野颯太・鈴木大晟 (常葉橘)

TC リーグ : 望月勇伸・出口大瑤・天野友心 (エスパルス) 高橋哲也 (常葉橘)
 田村佑二郎・細川朝陽・野末学・岩倉恋 (JFA アカデミー)
 佐藤耕誠・加藤隼登・山本竜輝 (アスルクラロ沼津) 徳永悠大・佐藤陸 (ジュビロ)

所感 : ・藤枝東高校と試合をした。A と B ではちよっと力の差があつて、A は相手の A2 くらいに勝った
 が、B は相手の B に 0-4 で負けた。A は技術戦術はもちろんだが、体力的にも強い選手が多く、
 B は技術戦術はあるが、体力、体格的にまだ厳しい選手が多く選考された気がした。

【2015/9/27 U-15 県 TC (上大之郷) 18名 (GSA 練習会②)】

TC リーグ : 出口大瑠 (エスパルス) 高橋哲也 (常葉橘) 徳永悠大・佐藤陸 (ジュビロ)

田村佑二郎・岩倉恋 (JFA アカデミー) 佐藤耕誠・加藤隼登・山本竜輝 (アスルクラロ沼津)

所感 : ・B チームのみジュビロ U-18 と試合をした。寄せ集めの中で監督の瀬戸さん (ジュビロ) がいろいろ工夫をして選手の気持ちを作っていた。中学生年代の難しさを感じたが、選抜という視点で見ると、コーチが盛り上げなければ盛り上がらないというのも寂しい感じがした。

【2015/10/10・10/12 GSA (エコパスタジアム) 36名】

国体 : 栗田詩音・監物拓歩・佐野陸人・梅田透吾 (エスパルス) 清水綾馬・塩浜遼 (静岡学園)
青木心・瀬島義成・菊池健太 (JFA アカデミー) 水野颯太・鈴木大晟 (常葉橘)

TC リーグ : 望月勇伸・出口大瑠・天野友心 (エスパルス) 高橋哲也 (常葉橘)

田村佑二郎・細川朝陽・野末学・岩倉恋 (JFA アカデミー)

佐藤耕誠・加藤隼登・山本竜輝 (アスルクラロ沼津) 徳永悠大・佐藤陸 (ジュビロ)

優勝 : プーマス (メキシコ) **2位 : 静岡県選抜 A** 3位 : 名古屋グランパス

4位 : チョンブリ FC (タイ) **5位 : 静岡県選抜 B** 6位 : イトゥアーノ FC (ブラジル)

所感 : ・優勝したプーマスは体格も日本人と同じくらいで、身体能力が特別優れている感じはなかった。しかしながらボールを奪う、ゴールを攻める、守るといった当たり前のことが徹底していて、言葉で上手く表せないが、まわりつづくように守備、シンプルな仕掛け、思い切りの良いシュート、そんなイメージであった。静岡県選抜 A はプーマスと比較して技術戦術体力が劣っているようには見えなかった。メンタルだけで片付ける訳ではないが、練習時からの競争意識や勝負へのこだわりが見えた気がした。と同時に静岡の選手というか最近の選手のひ弱さを感じた。

【2015/11/21~11/23 県ジュニア合宿 (時の栖) 46名】

国体 : 栗田詩音・監物拓歩・佐野陸人・梅田透吾 (エスパルス) 清水綾馬・塩浜遼 (静岡学園)
青木心・瀬島義成・菊池健太 (JFA アカデミー) 水野颯太・鈴木大晟 (常葉橘)
上戸雅也 (藤枝明誠) 松永駿平・小林誉貴 (清水東)

TC リーグ : 望月勇伸・出口大瑠・天野友心 (エスパルス) 高橋哲也 (常葉橘) 永島周汰 (清水東)

田村佑二郎・細川朝陽・野末学・岩倉恋 (JFA アカデミー) 徳永悠大・佐藤陸 (ジュビロ)

山口晏侍・増田俊介 (藤枝東) 佐藤耕誠・加藤隼登・山本竜輝 (アスルクラロ沼津)

所感 : ・中学生 36 名、高校生 10 名で行った。3 種主導だった活動が 2 種中心の活動になり、国体に向けて本格的な活動のスタートであった。速い攻撃の意識と県選抜のメンタル的な所を中心に合宿を進めた。

【2015/12/27 練習会 (草薙) 46名】

国体 : 栗田詩音・監物拓歩・佐野陸人・梅田透吾 (エスパルス) 清水綾馬・塩浜遼 (静岡学園)
水野颯太・鈴木大晟 (常葉橘) 松永駿平・小林誉貴 (清水東)

TC リーグ : 望月勇伸・出口大瑠・天野友心 (エスパルス) 高橋哲也 (常葉橘) 永島周汰 (清水東)

佐藤耕誠・加藤隼登・山本竜輝 (アスルクラロ沼津)

* : JFA アカデミー・ジュビロ・藤枝東は欠席

所感 : ・メンバーの集まりがよくなかったが、ヤングサッカー、甲信越静、メキシコ遠征に向けた選考のために行った。前線から積極的に奪いに行く事を意識させようと思ったが、選手間のコミュニケーションや自分のイメージが鮮明でなく、かなり手探り状態であった。

【2016/1/20 練習会（藤枝東） 1/31 練習会（藤枝明誠） 36名】

- 国体 : 栗田詩音・監物拓歩・佐野陸人・梅田透吾（エスパルス）清水綾馬・塩浜遼（静岡学園）
青木心・瀬島義成・菊池健太（JFA アカデミー）水野颯太（常葉橘）上戸雅也（藤枝明誠）
松永駿平・小林誉貴（清水東）
- TC リーグ : 望月勇伸・出口大瑠（エスパルス）高橋哲也（常葉橘）永島周汰（清水東）
田村佑二郎・細川朝陽・野末学・岩倉恋（JFA アカデミー）徳永悠大・佐藤陸（ジュビロ）
山口晏侍・増田俊介（藤枝東）佐藤耕誠・加藤隼登・山本竜輝（アスルクラロ沼津）
- 所感 : ・36名を決め、TC リーグ、ヤングサッカー、メキシコ遠征に向けて行った。2/16のTC リーグにエスパルス・JFA アカデミーがいない事、ヤングサッカーにU-16 代表候補4名・橘がいない事、メキシコ遠征の希望者が半分という事、様々な事がありメンバーを回すことに終始してしまった。

【2016/2/13 練習会（静岡） 2/14 TC リーグ後期2節 VS 岐阜（長良川） 17名】

- 国体 : 清水綾馬・塩浜遼（静岡学園）水野颯太・鈴木大晟（常葉橘）
上戸雅也（藤枝明誠）松永駿平・小林誉貴（清水東）
- TC リーグ : 高橋哲也（常葉橘）永島周汰（清水東）徳永悠大・佐藤陸（ジュビロ）
増田俊介（藤枝東）佐藤耕誠・加藤隼登・山本竜輝（アスルクラロ沼津）
- 所感 : ・エスパルスと JFA アカデミーの選手が不在であった。雨上がりでグランドコンディションも大変悪く、先制される展開であったが、4-1 で勝利した。プランはあったが、当日のコンディションで長いボール中心の展開にならざるを得なかった。

【2016/2/21 TC リーグ後期3節 VS 愛知（開誠館） 16名】

- 国体 : 栗田詩音・監物拓歩・佐野陸人・梅田透吾（エスパルス）清水綾馬・塩浜遼（静岡学園）
青木心・瀬島義成・菊池健太（JFA アカデミー）水野颯太（常葉橘）
上戸雅也（藤枝明誠）松永駿平・小林誉貴（清水東）
- TC リーグ : 望月勇伸（エスパルス）野末学（JFA アカデミー）徳永悠大（ジュビロ）山口晏侍（藤枝東）
- 所感 : ・今現在考えているベストメンバーで行うことができた。期待していたが内容は今ひとつで距離感が悪く、上手くボールが動かさなかった。1-0 で勝つことができたが、愛知はベストメンバーではなく、少し不安になった。

【2016/3/5 ヤングサッカーフェスティバル（藤枝総合） 14名】

- 国体 : 栗田詩音・佐野陸人・梅田透吾（エスパルス）清水綾馬・塩浜遼（静岡学園）
上戸雅也（藤枝明誠）松永駿平・小林誉貴（清水東）
- TC リーグ : 望月勇伸（エスパルス）永島周汰（清水東）徳永悠大（ジュビロ）山口晏侍（藤枝東）
- * : U-16 代表候補4名と常葉橘が不参加
- 所感 : ・相手の意表を突くプレーを常に狙っていて、周りと合わない事が多くあった。オーソドックスな形作りが必要だと感じたと同時に、様々なチームの色が合わさってチームになれば良いというイメージがぼんやりわいた。

【2016/3/23・3/24 甲信越清（エコパ人工芝） 18名】

- 国体 : 監物拓歩・（エスパルス）青木心・瀬島義成・菊池健太（JFA アカデミー）松永駿平（清水東）
- TC リーグ : 田村佑二郎・細川朝陽・野末学・岩倉恋（JFA アカデミー）徳永悠大・佐藤陸（ジュビロ）
山口晏侍・増田俊介（藤枝東）佐藤耕誠・加藤隼登（アスルクラロ沼津）
- 所感 : ・メキシコ遠征に行かない選手での参加だった。1 試合だけ見る事ができた。石井さんと一緒に本部で色々話を聞きながら試合を見て、手探りだった自分の中の基準や戦術を整理する事ができた。

【2016/3/23～4/2 メキシコ遠征 18名】

国体 : 栗田詩音・佐野陸人・梅田透吾 (エスパルス) 清水綾馬・塩浜遼 (静岡学園)
 水野颯太 (常葉橋) 上戸雅也 (藤枝明誠) 小林誉貴 (清水東)
 TC リーグ : 望月勇伸・出口大瑠 (エスパルス) 高橋哲也 (常葉橋) 永島周次 (清水東)
 山本竜輝 (アスルクラロ沼津)

所感 : ・試合の結果は2勝1敗1分だった。勝ち越して終わったことはよかったが、球際やボックス内の攻防、ボールに対する執着心やサッカーに対するしたたかさなど力のなさを突きつけられた気がした。空気が薄く、厳しい環境であったが、逆にその厳しさがチームに刺激をくれた。

【2016/4/20 37名 ⇔ 5/11・5/25 30名 練習会 (草薙)】

所感 : ・春休みまでの活動が終わり、3回の練習会で紅白戦を実施、メンバーの絞り込みを行った。同時にプレミア、プリンス、県リーグ所属の選手で県外出身選手を中心に視察やチーム関係者と連絡を取り合い選手をピックアップした。新チームで試合に出場している選手とサブになっている選手でコンディションがだいぶ違い、難しかった。30人をラージグループにしながらい、良い選手がいたら随時加えていくというイメージだった。

【2016/6/8 VS 桜が丘 6/15 VS 富士市立 30名+α】

所感 : TC リーグ前期に向けてタイプの違うチームと試合をしてもらった。速いプレス、ロングボール、細かいパス回し、ドリブル、多くのシチュエーションがあり、その中でのプレーを確認した。

【2016/6/23 VS 静岡 6/26 TC リーグ前期1節 VS 岐阜 (四日市) 16名】

【2016/6/29 VS 藤枝明誠 7/3 TC リーグ前期2節 VS 三重 (エコパ補助) 16名】

【2016/7/6 VS JFA アカデミー 7/10 TC リーグ前期3節 VS 愛知 (長良川) 16名】

VS 岐阜 3-1 ○

VS 三重 3-1 ○

VS 愛知 1-1 △ 得失点差で2位

所感 : リーグ戦の関係でTCリーグに呼べる選手はかなり制限があった。呼べる選手を集めて練習試合を行い、TCリーグに参加するという流れで行うことにした。日程的には呼べてもけがやコンディションのことを考え、前日のリーグ戦出場時間を当日聞いて調整するといった感じであった。3週連続という日程の厳しさと、とにかく選手を集めるために所属チームと連絡を取り合いながら進めていくのが大変だった。

最終戦の愛知との試合は唯一呼べないメンバー0名という状況であったため、ミニ国体をイメージしながらのゲームができた。しかし、出場時間に制限があつて前半のみのベストメンバーであった。かみ合わない部分も多く、選手も迷っているように思えた。

TCリーグが終わり、ミニ国体までの期間で練習会を実施しようと色々考えたが、エスパルスが7月下旬に海外遠征に出かけ、静岡学園が全国インターハイに出場し、プレミア、プリンス、県リーグの日程の中で調整ができず、ミニ国体一発勝負となってしまった。

【2016/8/8～8/14 ミニ国体 16名】

8/8	午後	集合・練習 (金谷人工芝)			
8/9	午前・午後	練習 (金谷人工芝・横井人工芝)			
8/10	午前	練習 (横井人工芝)			
	午後	移動 (岐阜・長良川)			
8/11	午前	ミニ国体 1 節 VS 岐阜	2-0	○	
	午後	移動 (愛知・豊田)			
8/12	午後	練習 (名古屋経済大)			
8/13		ミニ国体 2 節 VS 岐阜	4-1	○	最終戦を残して国体出場決定
8/14		ミニ国体 3 節 VS 三重	4-1	○	

<メンバー>

栗田詩音・監物拓歩・梅田透吾・齋藤聖七 (エスパルス) 清水綾馬・塩浜遼 (静岡学園)

青木心・瀬島義成・菊池健太 (JFA アカデミー) 水野颯太・鈴木大晟 (常葉橘)

上戸雅也 (藤枝明誠) 松永駿平 (清水東) 佐藤大雅・鈴木海仁 (ジュビロ) 山田梨功 (開誠館)

所感：今年度より方式が変更され、4 チーム総当たり戦、初戦勝った同士が 2 戦目を行うということになり、また、初戦から移動しての 2 戦目であったため、長い拘束期間と移動時間で選手はかなりのストレスだったと思う。消化試合をなくすといった試みであったようだが、結果的には 2 戦目で出場が決まり、少しほっとした。初戦の岐阜戦はブロックを崩せず、後半ロスタイムに 2 点取る展開だったため、大変苦しかったが、2 戦目、3 戦目は序盤に点を取って余裕を持って試合を運べた。初戦を乗り越えたことでチームに活気と勢いがつき、大変良い状態で 2 戦目、3 戦目を戦えた。事前合宿で確認した戦術やセットプレーが機能して、自分たちが思うようにゲームが運べるようになったのが大きな収穫であった。試合の 3 日も前に集合させ、合宿することに抵抗や反発もあったが、結果的に 3 日間の練習がなければ厳しかったのではないかと思う。

【2016/9/7 練習試合 VS 藤枝明誠 9/14 練習試合 VS 桜が丘 16名】

<メンバー>

栗田詩音・梅田透吾・齋藤聖七・佐野陸人 (エスパルス) 清水綾馬・塩浜遼 (静岡学園)

狩野奏人 (JFA アカデミー) 水野颯太・鈴木大晟・杉山八洋 (常葉橘) 上戸雅也 (藤枝明誠)

松永駿平・小林誉貴 (清水東) 佐藤大雅・鈴木海仁 (ジュビロ) 山田梨功 (開誠館)

* U-16 日本代表で不在

監物拓歩 (エスパルス)・青木心・瀬島義成・菊池健太 (JFA アカデミー)

所感：覚悟はしていたが、日本代表に 4 名選出され、4 名メンバーを追加した。大枠は変わらないと思っていたが、終わってみれば主力が抜けた穴は大きかった。戦力的には補充した選手も全く遜色なく力のある選手であったが、ミニ国体の苦しい戦いを乗り越えた感があるので、それを知らない選手は、少し冷ややかな雰囲気醸し出しているように見えた。強いチームと 2 試合相手してもらい、プレッシャーが速い相手に対して中盤が DF ラインに吸収されてしまう傾向があった。メンタル的な部分も大きいのかと思うが、少しでも弱気になったり、安全策で逃げようとする、こういったかたちになってしまう。今までも良くある現象だったが、直前の試合でもう一度現象が出て、対策を打つことができた。

【2016/9/28～10/3 岩手国体 16名 16名】

9/28 午後 集合（静岡駅）神奈川へ
 ナイター 練習試合 VS 神奈川 0-1 ● 終了後 浦和へ
 9/29 午前 移動（岩手へ）
 9/30 午前 練習（遠野市内）
 10/1 午前 練習（遠野市内）
 10/2 1回戦 VS 北海道 0-1 ●
 10/3 帰路（18時頃到着）

<メンバー>

栗田詩音・監物拓歩・梅田透吾・齋藤聖七（エスパルス）清水綾馬・塩浜遼（静岡学園）
 青木心・瀬島義成・菊池健太（JFA アカデミー）水野颯太・鈴木大晟（常葉橘）
 上戸雅也（藤枝明誠）松永駿平（清水東）佐藤大雅・鈴木海仁（ジュビロ）山田梨功（開誠館）

* U-16 日本代表で不在

監物拓歩（エスパルス）・青木心・瀬島義成・菊池健太（JFA アカデミー）

所感：移動の手段をどうするか迷ったが、（バスか新幹線か）神奈川と試合を組むことができたので少し強行日程であったが、バスで岩手に行くことにした。神奈川との練習試合は衝撃的で、相手の早さ、うまさ、強さに前半圧倒されてしまった。ポジション修正とやはり最後は気持ちと言うことを前面に出して後半戦わせて、自分の中ではかなり手応えをつかんだ。現地入りしてからは順調で全く問題なく試合に臨むことができた。

初戦は硬くなると思っていたが、案の定選手たちは硬かった。しかし自分のイメージでは攻撃力はあると思っていたので、時間が来て、自分たちのボールになれば問題ないと思っていた。いい形はたくさんあったが、決定機を活かせなかつたりする中で焦ってしまい、終盤はロングボールが増えてしまった。自分もわかってはいたが、ロングボールでも攻略できそうな雰囲気もあったので、そのままやらせてしまった。後半のロスタイムに失点する悔しい敗戦であった。自分の采配でゲームが膠着したとき、流れを変えられる選手をベンチに取っておくべきだった、そして延長も考えて、終盤動ききれなかったが、最後勝負に出ても良かったのではないかと、色々後悔ばかり残った。

【最後に】

この世代の選手たちを2012年、小学校6年生から5年間見させてもらい、にもかかわらず国体で結果を出せなかったことは、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。県全体の期待と協力を受けながらにして、自分の勉強になりましたなどというのはあつかましいかもしれませんが、多くの経験をさせてもらい、多くを勉強させてもらいました。指導には戦術、作戦、采配など様々な要素がありますが、多くの知識、経験があっても、選手に伝わらなければ、独りよがり過ぎないと言うこと、そして、「選手に伝える」ということは、自分が思っている100倍くらい難しいということです。「言ったのにできない」「選手が話を理解できない」という指導者はただの評論家で、指導者ではないと感じました。この5年間で様々な工夫を自分なりにしながら選手に携わってきました。児童・生徒は年々変わってきていて、自分の時代では理解できない状況になりつつあります。そういう選手たちに指導していく難しさをひしひしと感じています。

最後にこの5年間で多くの4種、3種の指導者の方と関わらせてもらいました。そういった指導者の交流も大変勉強になりました。世が許すなら、この経験を生かし、何かの役に立てればと思っています。

5月19日(土)

U-12 県TC (AH)

W-up

<T対攻>

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.

<key point>

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.

<高飛>

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.

<key point>

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.

<key point>

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.

Q&A (S.S)

5月19日(土) PH

下三

<T対攻>

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.

<key point>

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.

<高飛>

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.

<key point>

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.

<key point>

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.

Q&A (S.S)

6月24日(日)

U-12 県TC 東海TC マチ

1. VS 東海

時間 3-3-1

(4時)

2. VS 東海

時間 3-3-1

(4時)

3. VS 東海

時間 3-3-1

(4時)

Q&A

12/16(日) U-12 東海TC (トヨタエッセイター)

VS 東海

| | | |
|------------------------|------------------------|-----------------------|
| 1時 | 2時 | 3時 |
| 9
15 14 13
5 8 3 | 7
4 10 11
12 2 6 | 7
15 14 9
4 2 8 |
| 0-0 | 3-0 | 3-0 |

VS 東海

| | | |
|------------------------|------------------------|-----------------------|
| 1時 | 2時 | 3時 |
| 15
15 14 9
3 8 5 | 7
13 10 11
4 2 6 | 7
15 14 9
4 2 8 |
| 0-0 | 3-1 | 4-0 2 |

Q&A

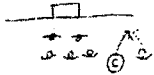
11月21日(土) 4-15 合宿 1日目 練習①

W-up

フリテン、フリパス、フリテからパッシング(合宿前、NSグループ)

3:1 (13-4 → ヲテテ)

T.I



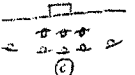
<不慣れ>

・フリテからパッシング
・右利きのフリテ
・フリテの②の

<Key points>

・フリテからパッシング
・フリテの②の
・フリテの②の
・フリテの②の

T.II



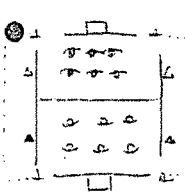
<不慣れ>

・フリテからパッシング
・フリテの②の
・フリテの②の

<Key points>

・フリテからパッシング
・フリテの②の
・フリテの②の
・フリテの②の

game



<不慣れ>

・6:6 + 2P
・フリテからパッシング

- ① フリテ固定
- ② フリテからパッシング
- ③ フリテからパッシング

<Key points>

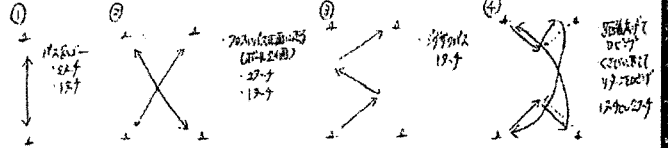
・フリテからパッシング
・フリテの②の
・フリテの②の
・フリテの②の

11月22日(日) 4-15 合宿 2日目 練習②

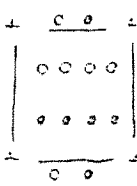
合宿

W-up : NS 15分

フリ



T.I



<不慣れ>

・フリテからパッシング
・フリテの②の

<Key points>

・フリテからパッシング
・フリテの②の
・フリテの②の
・フリテの②の

game



<不慣れ>

・6:6 + GK
・フリテからパッシング
・2-3-1

<Key points>

・フリテからパッシング
・フリテの②の
・フリテの②の
・フリテの②の

団体・選抜方式 1975 (1970) から 49回 7.10月

⇒ 55回

合宿の回数

合宿 2回
合宿 8回
合宿 4回

合宿 2/47 (4.26%) 年間 11/47 年選抜出場
合宿 2/47 (4.26%)
合宿 2/47 (4.26%)

合宿の回数

合宿 1回
合宿 1回
合宿 1回
合宿 1回
合宿 1回

合宿 1回

合宿 = 合宿 1回 合宿 1回

<合宿>

合宿の回数

合宿 = 合宿 2
合宿 = 合宿 1
合宿 = 合宿 2
合宿 = 合宿 1
合宿 = 合宿 1

合宿 2/47 (4.26%)

合宿 1/47 (2.13%)

合宿 1/47 (2.13%)

合宿 = 合宿 1回 合宿 1回

<合宿>

合宿の回数

合宿 = 合宿 1
合宿 = 合宿 1
合宿 = 合宿 2
合宿 = 合宿 1
合宿 = 合宿 1
合宿 = 合宿 1
合宿 = 合宿 1

合宿 1/47 (2.13%)

合宿 1/47 (2.13%)

合宿 2/47 (4.26%)

合宿 = 合宿 1回 合宿 1回

合宿 = 合宿 1回 合宿 1回 (合宿 1回 合宿 1回)

合宿 = 合宿 1回 合宿 1回 (合宿 1回 合宿 1回)

合宿 = 合宿 1回 合宿 1回 (合宿 1回 合宿 1回)

合宿 = 合宿 1回 合宿 1回 (合宿 1回 合宿 1回)

<合宿>

合宿 = 合宿 1回 合宿 1回 (合宿 1回 合宿 1回)

<合宿>

合宿 = 合宿 1回 合宿 1回 (合宿 1回 合宿 1回)

<合宿>

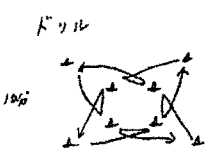
合宿 = 合宿 1回 合宿 1回 (合宿 1回 合宿 1回)

<合宿>

合宿 = 合宿 1回 合宿 1回 (合宿 1回 合宿 1回)

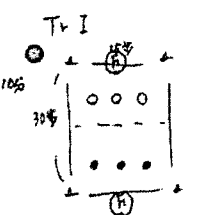
2月13日(土) 4-16練習 静清 13:00

06 W-up: MS



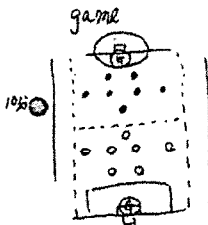
<不参加>
 ・各マーカー1人
 ・パスをマーカーに届く
 ・29-9、19-9

<Key factor>
 ・コミュニケーション
 ・タイミング
 ・パススピード



<不参加>
 ・3:3+27人
 ・アタッカー
 ・①→②のパスパス
 ・不参加の(数人)

<Key factor>
 ・パスの速さ
 ・狭いパスでのパス
 ・ゴール意識
 ・守備の方向を付ける



<不参加>
 ・7:7+守備
 ・2-4-1ニッパ
 ・ゴール、アタック、CK等

<Key factor>
 ・パスの速さ
 ・ゴール意識
 ・守備の方向
 ・1stDFの動き

116-155 セトラー
 ・11人の役割の確認 攻撃守備

Down

2/4(日) 東海4-16ソフ 後期2期 三重 長引く

| | | |
|----|----------|-------------|
| 水野 | 11-7 | 塩浜 |
| 上野 | 水野→塩浜 | 上野 |
| 橋本 | 陸 | 増田 橋本 |
| 新誠 | 徳永 加藤 野門 | 新誠 橋本 加藤 野門 |
| | 高橋 | 高橋(守) |

<攻撃>
 ・ボウツの使い方 → 橋本、大長は積極的に受ける → フォワード完成、17-9の完成
 ↓
 ・FW 2枚 & サイドも積極的にボウツを受ける
 ① 裏を取らぬ動き → 裏のスペースで受ける、裏のスペースに押す
 ② センターに対して → ニアにボウツを押し入れる → フォワードを止める
 ↓
 ・ボウツのタイミング

<守備>
 ・2:2コントロール & ロングボールの対応(準備) = 出所を見(相手の早く準備) → 準備的に行う

玉線、流し合いの勝負、負けと試合にならない
 ・ボウツ内の守備 = シュート、緊張感、恐怖心(ソフ、ヤブ)

<三重>
 ・前日、ゲーム
 ・身体が大きい選手が少い(コウ、ボウ、FW)
 ・ロングボールの対応(準備) 必要
 ・身体が大きい選手が少い

Sub進行の準備
 ・失点、後半の準備(準備)
 ・失点後の準備(準備)

・戦術は2日かけて着目している(戦術) 結局は1:1の勝負
 ↓
 ・試合の準備
 ・試合の準備は負けている試合はない、試合の準備は1:1の勝負

2月21日(日) 4-16東海ソフ 後期3期 愛知 開成館

| | | |
|----|----------|-------------|
| 水野 | 水野 | 塩浜 |
| 上野 | 橋本 | 橋本 橋本 上野 |
| 山口 | 山口 | 山口 |
| 有地 | 徳永 野末 桑田 | 有地 徳永 野末 桑田 |
| | 青木 | 橋本 |

<攻撃>
 ・ボウツの使い方 → 山口、橋本は積極的にボールを受ける → フォワード完成
 ・上野、橋本は積極的に勝負を仕掛ける、外に張るパスはいいパスにする
 ・橋本はボウツのボールを受ける & 水野にパスを渡さない
 ・センターに対して → ニアにボウツを押し入れる → フォワードを止める、ボウツの準備(タイミング)
 ↓
 ・ボウツの準備(タイミング)
 ・裏を取らぬ動き = 一番最初、ゴールの準備

<守備>
 ・2:2コントロール & ロングボールの準備 = 出所を見(相手の早く準備) → 準備的に行う
 ・攻→守の切り替え = ボールへのパス、マウスのボール(瞬間にボールを奪う)
 ・ボウツ内の守備 = シュート、緊張感、恐怖心(ソフ、ヤブ)

・戦術は2日かけて着目している(戦術) 結局は1:1の勝負
 ・コミュニケーション = 性格や時間の問題でなく、勝つ為には努力が必要
 ↓
 ・勝利の準備は負けている試合はない、試合の準備は1:1の勝負
 ・復讐 = 過去の栄光はもうない → 泥臭く、必死に、それが勝利の準備
 ・のれん争は負けている試合はない、試合の準備は1:1の勝負

3月6日(日) ヤブサッカー スタジアム 4-16練習 橋本総合

| | | | | |
|----|----------|-------------|-----|----|
| 塩浜 | 橋本 | 上野 | sub | 増田 |
| 橋本 | 橋本 | 山口 | 橋本 | 橋本 |
| 山口 | 山口 | 山口 | 山口 | 山口 |
| 永島 | 橋本 野末 橋本 | 永島 橋本 野末 橋本 | | 小坂 |
| | 橋本 | 橋本 | | |

・橋本はDFとDFの距離を詰める、中央集約、マウスの準備は積極的にボールに行く
 ・野末、橋本は2:2コントロールの準備、間にはFWのマウスの準備(準備)の準備
 ・永島、橋本は同サイド高位置で積極的にボウツを受ける準備(準備)の準備(準備)

・ボウツの準備(タイミング)
 ↓
 ・山口、橋本は積極的にボールを受ける、19-9の準備(準備)の準備、パスの準備
 ↓
 ・攻→守の切り替え(準備)の準備
 ↓
 ・橋本、上野は張るパス(準備)の準備(準備)の準備、中央でボールを受ける
 ↓
 ・積極的に勝負を仕掛ける準備(準備)の準備

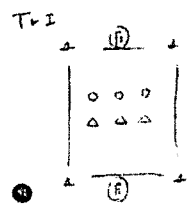
・橋本は塩浜にパスを渡さない、パスを出さず積極的に
 ・塩浜はパスが入った勝負、高位置でボールを受ける準備(準備)の準備(準備)
 ・センターに対しては塩浜、橋本、山口、橋本は絶対、山口、橋本は絶対(準備)の準備(準備)

・表があるから裏がある、王道があるから邪道がある
 ・良い流れ、悪い流れは必ずある、準備(準備)の準備(準備)の準備(準備)の準備(準備)
 ・ボウツ内の攻防は5-4-4橋本、緊張感、恐怖心(準備)の準備(準備)の準備(準備)
 ・準備(準備)の準備(準備)の準備(準備)の準備(準備)の準備(準備)の準備(準備)

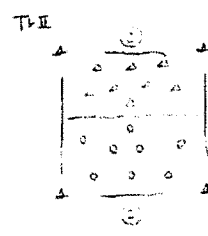
3月27日(日) Xキョ遠征 トレーニング

W-up: 内山君

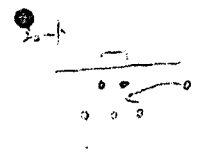
ドリル: 鷲葉先生



<不慣れ> 3:3+2ツツイン
下→下のパス
<key points> 予備
ボレー(保持)と突破の予備の文化
1タッチ、タッチ意識
守備の方向、Hワフ



<不慣れ> 8:10 練習
8:10→9:10
練習の徹底
エディのドリル
守備の徹底
3-4-1 実践
<key points> 守備の予備
守備の徹底
守備の徹底
守備の徹底



<不慣れ> 練習
練習の徹底
練習の徹底
<key points> 守備の予備
守備の徹底
守備の徹底
守備の徹底

セトプレー

CKの攻撃のみ
狙いの徹底
狙いの徹底
狙いの徹底

Jam

✓キョ遠征

3月25日(金) Xキョ遠征 親善試合 1対1 30x3

1対1

水野
塩浜 若井
橋本 隊
三宅 小环 取野 詩音
梅田

2対1

山本
佐永 出口 高橋
橋本
永島 小环 取野 詩音
梅田

3対1 1.2本目の様子に決める

<攻撃>

不慣れな予備 → 1タッチ、予備、予備、予備
止まらぬ、止まらぬ予備の徹底
セッティングに決める → 役割を割り、不慣れな予備の徹底
任せて → 2対1の積極的な任せて

<守備>

運動の予備 ⇒ 止まらぬ / セッティングに決める
攻→守の徹底
サードバックが高い位置で決める ⇒ サードバックの徹底
相手FKへのプレス、ドリブルは逆サイドに決める
コンパクトプレーで負けない、逃げない

ボールへの執着IV

「今の無理で、」はなし ⇒ 自分、チームの感覚に決める
元気、前向きに

3月29日(火) Xキョ遠征 親善試合 トレーニング

水野
出口 詩音 春日 佐永 若井 橋本
三宅 小环 取野 永島 梅田

Sub 出口
詩音
春日
佐永
若井
橋本

<攻撃>

不慣れな積極的な予備 = 関心を出し、決める
ワイドパスの徹底、中→外に決める、予備の徹底
エディのドリル 積極的な予備 1人時間でのドリルも決める
セッティングの徹底、エディのドリルも決める

<守備>

セッティングの徹底の徹底 (ドリル)
攻→守の徹底 = 相手への予備の徹底
前線へのプレス ⇒ 相手への予備の徹底

パス配分しない
ボックス内の攻防 = 無理なところと得点できない
玉際の攻防、1:1の徹底、試合の勝敗 ⇒ 先行して決める
元気、前向きに

3月30日(水) Xキョ遠征 親善試合 トレーニング

水野
出口 詩音 春日 佐永 若井 橋本
三宅 小环 取野 永島 梅田

Sub 水野
出口
高橋
春日
小环
三宅

<攻撃>

不慣れな積極的な予備 = 関心を出し、決める
ワイドパスの徹底、中→外に決める、予備の徹底
エディのドリル 積極的な予備 1人時間でのドリルも決める
セッティングの徹底、エディのドリルも決める

<守備>

セッティングの徹底の徹底 (ドリル)
攻→守の徹底 = 相手への予備の徹底
前線へのプレス ⇒ 相手への予備の徹底

パス配分しない
ボールへの執着IV = リベンジ、1:1の徹底、試合の勝敗 ⇒ 先行して決める
元気、前向きに
元気、前向きに = 笑、(終了 = 勝、終了)

6月8日(水) 団体練習試合 松山 19時 30x3

| 1本目 | 2本目 | 3本目 |
|--|-----|-----|
| 松永 松永 成岡
上 松永 柳 水野 柳 田村 永島
大蔵 藤馬 瀬藤 大雅 山口
細川 豊物 狩野 詩音 相戦 平松 リク 八木
梅田 進藤 柳山 | | |

代表：狩野・柳地・瀬藤・青木
GM：小林

- <気づいた所>
- DFラインのポジション＝距離が遠くなる。サポバの位置が高くなる (高い位置で守るのが早い)
 - ボランチがもっと積極的にDFラインに絡む
 - 相手パスが来たら1タッチでゴールの方へ展開⇒後ろのラインに引く
 - フェイントの連続⇒サポバの個で仕掛けた崩壊
 - 前線積極的パス⇒2nd, 3rd DFの反応、運動 (特に相手ボランチ連り)
 - 攻守のセリ替え
 - 攻→守：交代瞬間にDFラインが戻る＝戻り前にキック
 - 守→攻：ショートカット、前線の反応、パススピード
 - 距離感 ⇒ とにかくやる。怪む前やる。迷う前やる
- <新しい選手>
- 成岡 (松山) DF - 3番
 - 八木 (松山) DF - 3番
 - 山田リク (岡崎) DF - 3番

6月15日(水) 団体練習試合 VS 静清 19時 30x3

| 1本目 | 2本目 | 3本目 |
|--|-----|-----|
| 松永 松永 成岡
上 松永 柳 水野 聖七 永島 柳 田村 高橋
大蔵 藤馬 瀬藤 大雅 山口 出口
細川 豊物 狩野 詩音 相戦 平松 野添 海
梅田 進藤 柳山 | | |

代表：小林 近藤
GM：山田 相戦

- <気づいた所>
- ポジションの中で とにかくボランチに絡む事がある
↓
ボランチはゴールまで ⇒ パスがDFラインに引く
 - ボランチがゴール前で前向き反応
1. 表を組む 2. 間を切る 3. ボランチのフォローUP
 - DFラインのミス ⇒ ボランチが喰われない 居る
セーブ、サポバのポジション
 - 個を相手、個を出す ⇒ 相手ゴール付近で積極的に
個人、コンビ、トリオでの連携
 - ボールは必ずパスを当てて ⇒ 攻守のセリ替え、運動、コミュニケーション
相手を見て、試合の流れを見てプレーする
⇒ 110を良い時間帯に作り出す、我慢が必要
自分達の流水に引き戻すプレー
 - 次回メンバー = TCリ-7 初戦のメンバー決定

6月23日(木) 団体練習試合 VS 静清 19時 30x3

| 松永 | Shb |
|---|-----|
| 上 松永 柳 高橋
瀬藤 藤馬 出口 野添
細川 山田 野添 詩音 永島 外山 (GK)
梅田 柳山 大雅 大蔵 | |

- <気づいた所>
- 守→攻のセリ替え - DFラインのスペースを生かすからゴールの流しを替える
= セリ替えの瞬間、特に高い位置でキックする
ショートカット⇒相手が守るスペースで守る (相手が守るスペースで守る)
 - 1タッチパス - ハイパスは全員の「スタート」
= ガッツキでキックする1タッチでゴールの方へ展開
 - 相手ゴール付近は積極的に仕掛ける - 個人、コンビ、トリオでの接近戦
 - TOP スタッフのボールの通り - とくに前線に引く
= 前回のボランチが連れるパスが、方向を切り替える (ドリブル、キック)
 - DFラインの対応 - 1人で守る、1人で守る場面が多い
= 守り手対応、パスを止める
 - フェール - 無駄なフェールは少ない、大抵はミス

6月26日(日) TCリ-7前期 1節 VS 岐阜 11時

| 松永 | Shb |
|---|-----|
| 上 松永 柳 高橋
瀬藤 藤馬 出口 野添
細川 山田 野添 詩音 永島 外山 (GK)
梅田 柳山 | |

- <気づいた所>
- ポジションの時の味方の距離
⇒ セーブはゴールの幅が広い、サポバの視野を確保して守る状態に注意
 - ボランチにボールを入れる = 敵に近くても積極的に (パスが来たら引く必要)
⇒ 引くもいかに受ける = ワンツー、ショート・ショートパスの連携
= 接近戦のキック (5m以内のパスの連携でゴールに近づける)
 - 前線のガッツキ連り - TOPがスタートから後ろのラインに引く
= 先、下層にパスを返す = 守→攻のセリ替え
⇒ 110を流す
 - kick offは相手陣地へ。線引き後のkick offは自陣から (黄色のパス)
= セーブは基本ワンツーで必ず確認、横取りのプレーは自陣で守る
 - 元気よく、前向き
 - ミスはある、セリ替えを早く
 - 復讐の第一歩

6月29日(水) 団体練習試合 VS明鏡 明鏡前 19時 30x3

| 1本目 | 2本目 | 3本目 | 水野 |
|---|--|--|----|
| 塩浜
聖七 高橋
櫻馬 瀬宮
前地 山田 野末 海仁
青木 | 塩浜
田村 永島
(松永) 山口 大雅
前地 山田 野末 詩音
砂山 | 松永 大雅 高橋
櫻馬 大雅 (高島)
(松永)
海仁 山田 詩音
(野末) | |

- ボレッションの時の味方の距離 = 広がりすぎない
↳ センターはボールが動く、センターは視野の確保が状態を逆転させる
- ボランチにボールを触らせる = 積極的に、怖がらずに、背を向くから(守り)
- 前の選手の呼び出し、→ ライン間で受けるか、裏か、相手を見下ろして探す
- 失った瞬間にプレススタート、積極的に奪いに行く = チームの気、勢、躍動感
- ラインコントロール = 間伸びたところプラスは無意味、危険、視野を上げ下り
- 逆攻失敗の切り換え = リストマネージメント
- セットプレー → 守: 基準をツーンセ、責任感、覚悟
攻: スイング 2度、3度がある時に入る
ショートCKやフリーキックが変化のツ
- 前向き、明るく、思いやりよく、ハツラツと。

7月3日(日) 東海TCV前期2節 VS三重 工大補助 13時

| 塩浜 | sub | 大雅 |
|---------------------------------------|-----------------------------------|----|
| 上 田村 永島
櫻馬 瀬宮
前地 山田 野末 海仁
青木 | - 山口
- 松永
- 詩音
- 外山 (GK) | |

- ボレッションの距離感 = 広がりすぎない
↳ センターの距離、サイドの位置、DFとボランチの距離など
- ボランチにボールを触らせる = 積極的に、怖がらず、背を向くから(守り)
テポの変化 (2タッチ、1タッチ、時々ロング)
- 前線の選手の特徴を生かす (生かされる)
塩浜の仕掛け = どこで仕掛けるか、DFに近づかない、DFE利用
大雅の仕掛け = 中にこめ、(パス時) 回りのポジション
永島のスピード
田村は塩浜の近くでゴール = コレ
- 積極的にボールを奪いに行く = チームの気、躍動感
- ラインの押し上げ = コレ外に、& リストマネージメントを上げる
- セットプレー = 責任感、覚悟、体張る(攻守) ⇒ 勝負を決める
- 明るく、前向きに、ミスはあっても前向き、ボールを早く
- 耐える時間帯は必ずある、あきらめずに耐えて引き返す
- 苦しい時に何が出来るか、選手としての価値を、チーム
- 勝利へのこだわり = 執念

7月6日(水) 団体練習試合 VS JFA 第一 時 瀬野町 19時 30x3

| 1本目 | 2本目 | 3本目 | 水野 |
|--|--|---|----|
| 塩浜
松永 聖七 大雅
櫻馬 瀬宮
前地 山田 野末 海仁
青木 | 水野
松永 瀬宮 塩浜
大雅 櫻馬
前地 山田 詩音
青木 (橋田) | 塩浜
(松永) 水野
大雅
大雅 瀬宮
(松永)
海仁 山田 小林 詩音
橋田 | |

- ボレッションでのDF間の距離 = 広がりすぎない (特にセンターバック)
- ボランチは積極的に入る = ボランチは受ける場所を探さず(動きすぎない)
- テポよくボールを動かす (ボールが動けば相手も動く)
- ラインの押し上げ & ロングボール、切替ボールなどの裏面に対するリスク管理
↓
少く間伸びたところがある
- 攻→守の切り換え = 失った瞬間に反応 (広がりすぎないように)
- 個を生かす、個を出す = 個の仕掛け、コンビ、ト才の絡み
- ボランチの攻防で勝負を分ける ⇒ 体を張る、覚悟、執念 (セットプレー)
- ニ国×ババ 7月13日(水) まで決定
- 今日のババ - ババース (野末はニ国は招募でいい)
↓
最終判断: 今日いい選手もあつてイメージする

7月10日(日) 東海TCV前期3節 VS愛知 吹上 13時

| 水野 | sub | 松永 |
|---|----------------------------|----|
| 塩浜
上 聖七 大雅
瀬宮 櫻馬
前地 山田 野末 海仁
青木 | 水野
大雅
詩音
小林
橋田 | |

- ボレッションで DF間の距離 (特に山田) = 広がりすぎない
- ボランチは積極的に受ける = 受ける場所を探さず(動きすぎない)
- 両サイドMFは外に張り付いてしまわない、縦の間に顔を出す
- ボランチの型は生かす (カバーアップ、ワンツーなど)
- テポの変化 (2タッチ、1タッチ)
- 積極的にボールを奪いに行く = チームの気、躍動感、玉際の勝負
逆サイドの選手のポジション (特に両MF) の修正
- プレスに行かない時、2nd、3rd DFの反応、強い
- 個を出す、個を生かす = ① 個の仕掛け ② コレ ③ ト才
- ラインの押し上げ = 少く間伸びたところ
↓
ロングボール、サイドボールへの反応
- 明るく、元気よく、前向きに、勝ちにこだわる
- チームビルド = 寄せ集めではない、チームがチームで動く、互いに自覚
- 個の存在感を出して = 自分は何ができるかを見せ出す
- 協力、団結

8月8日(月) - 8月10日(水) ニニ団体準備台宿: 島田

- 8/8(月) PM Tr
 - ゲーム形式: 戦術確認
 - DFラインのポジションの距離感 (特に4バック)
 - ボランチの使い方 (積極的には、パスの位置の確認)
 - 仕掛り (個、コンビ、トコ) = ノックアウトを生かす
 - チボ = 2人、1人、ロングボール、肩アキケンジ など

- 8/9(火) AM Tr
 - 11:11 セットプレー
 - CK (攻・守) ・FK (攻・守) ・スローイン (攻) ・キックオフ (攻)
 - ゴールキーパー ・ GK キーパー

- 8/9(火) PM Tr
 - ゲーム形式: 戦術とセットプレーの確認
 - 練習しながらゲームの流の中で確認 (特にセットプレー)

- 8/10(水) AM Tr
 - ゲーム形式: 戦術とセットプレーの確認
 - 短い時間で20分の練習
 - メンタルを本番モードにアプスにする

選抜チームの一人としての自覚 = 日本へ向かい
 県民の期待と背負う覚悟 = 復権元年

8月11日(木) ニニ団体 第1戦 VS 坂手 長良川 10時

| | |
|-------------|---------|
| 塩浜 | Sub 松永 |
| 上 聖七 大蔵 | 水野 |
| 瀬川 頼馬 | 鎌倉 |
| 前地 監明・山田・海仁 | 大蔵 |
| 青木 | 梅田 (GK) |

- 青木はセット集中、リスク管理、特に格水後
- 監明、山田は距離感、ロングボールの対応 (ロングボールの対応、準備)
- 前地、海仁は選抜のポジション、肩アキは積極的に
- 瀬川、頼馬はゴール、腕球が強いのはスローイン、1人、2人
- 上、大蔵は9人、早く中に入る、キックオフ
- 聖七、塩浜はボランチが積極的、試合に出るスピード、試合で待つ
- 積極的、ボールを奪いに行く = チームの士気、躍動感
- ボランチの攻防が勝敗を分ける = セットプレーは勝敗を分けるプレー
- シュートは8割、キックは思い切りよく
- 格水後 = ゲームのペースをコントロール、相手のペースを突く
- 早い時間帯は必ずあるが耐えて引き返す
- ミスがある、梅田の時間があがる、次をやる
- 静岡選抜の一人としての誇りと責任、県民の期待に応える
- 復権元年、明るく、前向きに、勝への執念

8月13日(土) ニニ団体 第2戦 VS 豊田 豊田陸上 10時

| | |
|-------------|---------|
| 塩浜 | Sub 松永 |
| 上 聖七 | 水野 |
| 大蔵 瀬川 頼馬 | 大蔵 |
| 前地 監明・山田・海仁 | 鎌倉 |
| 青木 | 梅田 (GK) |

- 青木はセット集中、リスク管理 (試合のペースを格水後)
- 監明、山田は距離感、ロングボールの対応 (ロングボールの対応、準備)
- 大蔵、瀬川、頼馬は積極的に、自由な動き (良いバランスを保つ)
- 上、聖七、塩浜はボランチで、試合に出るスピード、試合で待つ
- 準備のスタート、積極的、奪いに行く = チームの士気
- 試合のペースをコントロール、相手のペースを突く
- ボランチの攻防、特にセットプレーは勝敗を分けるプレーとしての自覚
- 格水後 = ゲームのペースをコントロール、相手のペースを突く
- 早い時間帯、必ずあるが耐えて引き返す
- 何の権利も得られないゲームは難しい、緊張感と集中力と大胆さ

静岡選抜の責任と誇り = 県民の期待に応える
 復権元年、明るく、前向きに、勝への執念、全員で勝ち

8月14日(日) ニニ団体 第3戦 VS 三島 豊田陸上 12時30分

| | |
|-------------|---------|
| 塩浜 | Sub 松永 |
| 上 聖七 頼馬 | 水野 |
| 大蔵 瀬川 | 大蔵 |
| 前地 監明・鎌倉・海仁 | 山田 |
| 梅田 | 青木 (GK) |

- 梅田はセット集中、リスク管理 (セット後のクリアや格水後)
- 監明、鎌倉はロングボールの対応 (試合)、試合の準備、試合の準備
- 前地、海仁は競合の対応 (試合)、試合の準備、試合の準備
- 大蔵、瀬川はセットプレー、試合の準備、試合の準備
- 上、頼馬は試合のペースをコントロール、試合の準備、試合の準備
- 塩浜、聖七は相手のペースを突く、試合の準備、試合の準備
- ロングボール (9人、10人) の対応 = 競合、カバー、セット
- ボールのパス = 昨日の試合、試合の準備、試合の準備
- セットプレーは勝敗を分けるという自覚 = 攻撃は大事に、守備は大事に
- 70分までで、試合の準備、試合の準備 = 常時 120% 全力
- 必ず難しいゲーム、試合、試合、試合、試合、試合、試合
- 復権元年 = 選手は選手、選手は選手、選手は選手、選手は選手

9月7日(水) 団体練習試合 VS 明誠 19時 明誠中

| 1本目 | 2本目 | 3本目 |
|--|--|---|
| 塩浜
上戸 聖七 大蔵
大雅 横馬
海仁 山田 狩野 詩音
梅田 | 水野
松永 森馬 上戸
大雅 陸人
海仁 山田 狩野 小林
梅田 | 塩浜 (水野)
上戸 横馬 聖七 大蔵
陸人
詩音 山田 小林 海仁
梅田(初山) |

- DFラインの距離感の確認 = ポゼッションの時
- ① ボランチに殺す意識の徹底 = ボランチの守り意識の徹底
- サイドの動きの確認 = ワイドMFとサイドDFの関係と逆サイドのポジション
- ショートカウンターの意識 = 奪下瞬間に攻撃(相手守り前に攻める)
- ボールを奪いに行く姿勢 = 中盤のポジション、狙いの確認
- DFラインコントロールのカバー意識 (ロングボール主体のチーム作り)
- セットプレーの確認 (選手) = 直前直前でエゴリや予定
- PK戦の準備
- 新メンバーの確認 = チームの溶け込み、積極的声掛け、観果
- ② 若手に向けた = 県民の期待、県代表の自覚
- 良い準備 = 「勝利に幸運は運だが、幸運の99%は良い準備」テス・コナー
- 因縁 = 想像を絶する過酷な戦いになる、チー一丸
- 楽しいで終わるものがない => 苦しいを乗り越える覚悟
- こみから本番、何も成しとげない、復讐辞用のスタート

9月14日(水) 団体練習試合 VS 桜山 19時 桜山中

| 1本目 | 2本目 | 3本目 |
|---|--|--|
| 塩浜
上戸 聖七
横馬
大雅 陸人
詩音 山田 狩野 海仁
梅田 | 水野
松永 横馬 大蔵
大雅 陸人
海仁 山田 狩野 小林
梅田 | 塩浜
上戸 聖七 水野
大蔵 横馬
詩音 小林 狩野 海仁
梅田(初山) |

- ① ポゼッションの時のDFラインの距離 = 少ない
- ボランチの受け方 = 真中や相手2TOPの脇(サイドバックがつくスペース)
- 強いプレスがかかる時と中盤が崩れ(しりぞ)の2ライン現象
- ボランチが受けるスペースをつくる動き(サイドバック、サイドMF)
- ボールを奪いに行く姿勢 = 前から行く、失点瞬間(攻め守りの切り替え)
- 1:1に負ける = 球際、空中戦に負けるとジワジワやられる
- セカンドボールへの反応 = 出足の遅さ、勝ちたい気持ちの表れ
- ② シンプルプレーの徹底 = 表があるから裏が生ずる(不バウンス)
- 前向きに、積極的に、明るく、元気よく、厳しく
- 自信と緊張のバランス = 自信が過信にならないように
- 緊張が弱気にならないように
- 厳しい戦いに出ていくという自覚と県代表の誇り
- ↓
- よい準備(残り2週間の過ごし方)

9月28日(水) 団体練習試合 VS 神奈ツ 18時 神奈ツ

| 1本目 | 2本目 | 3本目 |
|--|-------------------------------------|--|
| 水野
上戸 塩浜 聖七
大雅 横馬
詩音 狩野 山田 海仁
梅田 | Sub: 小林
松永
大蔵
陸人
初山(GK) | 塩浜 (水野)
上戸 横馬 聖七 大蔵
陸人
詩音 狩野 山田
初山 |

- ポゼッションの距離感の確認 = センターバック、ボランチ、サイドMF、サイドDF
- ① ボランチの受け方 = 真中、2TOPの脇(サイドバックがつくスペース)
- 強い意識を強く(少し後者が多い)
- ボールを奪いに行く姿勢 = 前から積極的に、失点瞬間(攻め守りの切り替え)
- 1:1に負ける = 球際、空中戦に負けるとジワジワやられる
- セカンドボールへの反応 = 出足の遅さは勝ちたい気持ちの表れ
- シンプルプレーの徹底 = 表があるから裏が生ずる、おどろかす
- <3-6-1のイメージ>
- ② 3人のDFを相手FWが見る(相手は1TOPが見る2人を見る)
- サイドの逆手意識 = 相手ワイドMFを意識してカバーさせる
- ターゲット、DFがDFの対応 = それ自体で対応できるのではなく相手DFにさせる
- ↓
- 相手のスペースをDFがDFでカバーして入る
- <スタート確認>
- 基本今日のスタートは北海道のスタート確認
- 欠けのイメージの共有
- 3-6-1のイメージの共有

10月2日(日) 若手団体10戦 VS 北海道 12時

| 1本目 | 2本目 | 3本目 |
|--|-------------------------------|--|
| 塩浜
上戸 聖七 水野
大雅 横馬
詩音 山田 狩野 海仁
梅田 | Sub: 松永
大蔵
陸人
初山(GK) | 塩浜
上戸 聖七 水野
大蔵 横馬
詩音 山田 狩野 海仁
梅田 |

- 梅田は上戸と上戸、給水後のリカバリー管理、流水取った時にプレーの集中を促す
- 山田、狩野はDFラインのコントロール、徹底、ライン細かく加す、2人の距離感
- 海仁、詩音は攻撃時のポジションと守備(逆サイドのカバー)のポジション
- 大雅、横馬は積極的に受け取る、守備時にDFラインの崩れを防ぐ、カバー前に出る
- ① 上戸、水野は積極的にカバー、守備のポジション = 守りながら攻撃(守りながら)
- 聖七、塩浜はボールを奪った瞬間の動き出し(DFの間や裏)
- ↓
- ショート積極的に、カバー
- 松永は空中戦とサイドバック = 用ひの強い、突破に入、守りスタートになる
- 大蔵はDFのポジションで出場する準備
- 陸人は中盤の激しいプレスに耐えられるように => プラスキック、力強い
- ② 5枚の攻防、競り合い、セカンドが勝敗に直結する => 戦う姿勢
- ③ ボックス内、攻防 = 守りセットプレーは勝敗を分けるプレーという自覚(攻め守り)
- 勝利の女神は細かく踊る、皆が鳴るまでやり続ける、それ以外の、楽に勝てない
- 当然苦しい時間帯もある、苦しい時に何が出来るか、選手全員
- 自信と緊張のバランス = 自信が過信に、緊張が弱気にならないように
- 復讐への執念、何も何でも勝つ、県民の期待、静岡のプライド
- チー一丸、因縁